



## 暁峰祭を終え、夏休みに向けて

### ◆暁峰祭で得た大きなエネルギーを次のステップへ

令和5年の第67回暁峰祭「Glamorize」が終わりました。1年生には初めての高校の文化祭、2年生には新クラスで初めての暁峰祭でした。万事が3年生のパワーに圧倒されたことと思いますが、皆さんも随所に輝いていました。来年の活躍を大いに期待しています！

暁峰祭を通じて成長した自分を自負し、力を合わせた仲間とともに次のステップへと進みましょう！

### ◆「総合的な探究の時間」から

本校の1・2年生は木曜日の6時間目に「総合的な探究の時間」が設定され、探究的な学びを深めています。本年度、1年生では北海道大学の滝沢侑子先生による「生態系」の講義を通して、探究的なアプローチの手法を学びました。『ライオンキング』を題材に「スカーが王国を崩壊させて



しまった理由は何だったのだろうか？」「ではどうすれば良かったのだろうか？」という思考の経験とプロセスは1年生の皆さんの視野が大きく広がったのではないのでしょうか。2年生は講座別に分かれて、自らの研究の「問立て」を実施しました。講座内でのブラッシュアップを通じて、「どんな問いが良い問いなのか？」その難しさや面白さに気がつき始めたのではないのでしょうか。現在取り組み始めている「フィールドワーク」を通して、皆さんが価値ある一次情報にたどり着く事を期待しています。また、2年生の1部にはオーストラリアの高校生と交流という経験を積んだ人もいました。

探究学習を「面白いな」と感じている人がいる一方、「難しいな」「少し大変だな」と感じている人もいるかもしれません。探究学習が一見、難解なものに見えるのは、すぐに答えが出ないからかもしれません。皆さんがこれから向かおうとする大学や社会といった場所では、皆さん自身が「解決すべきこと」を見つけ、「どうすれば良いか」を考えることが必要になってきます。それを「面倒なこと」と取るか「チャンス！」と取るか。少し難しい部分かもしれませんが、皆さんの人生の「オイシイ」部分であるとも思います。他人任せはもったいない。ぜひ、自分の頭で考えてみて下さい。

さて、1, 2年次の長期休業は教科学習にも、進路研究にも貴重な時間です。各学年や教科から用意される課題に、じっくり腰を据えて取り組んで欲しいのはもちろんですが、各所で実施される様々な事にもアンテナを張って見て下さい。担任の先生方からいくつか案内がありませんでしたか？ 自らの志望分野について興味深く調べ、行動した経験は、3年生の時に、あるいはそのもっと後で、皆さんを助けることがあるかもしれません。皆さんの行動力に期待します！

大切なのは、疑問を持ち続けることだ。  
神聖な好奇心を失ってはならない。

アルベルト・アインシュタイン

## 7月の目標

|     |                                |
|-----|--------------------------------|
| 共通  | 1,2年生も土曜日・日曜日の学習室を利用できます(右記※印) |
| 1年生 | 1学期を振り返り、今後につながる夏休みの計画を立てる     |
| 2年生 | 来年の夏は受験生の夏、いまやるべきことを確実に実行する    |

### ◆サタデーセミナー…7/6(土)

英数国を中心に学力向上を図る目的で、模擬試験対策が主な内容になります。各学年や教科からの連絡に留意してください。

### ◆成績会議…7/12(水)

全生徒の成績と学習状況が報告され、全校の先生方が確認する会議。皆さんも通知票を通じて、1学期の学習状況をしっかり見直しましょう。また、小中学校と高校の大きな違いが単位の履修と修得です。修得には各授業への出席はもちろんですが、一定の成績を残す必要もあります。最終的には、その科目が認定されなければ進級することはできません。各教科から課題や補習の指示があれば、かならずクリアーすること。

### ◆進研記述模試…7/15(土)

1年生にとっては、初めての全国模試となります。『大学入試は全国区』である以上、自分の受験学力を定期的・客観的に知ることがきわめて重要であり、3年生では各社の模試を月に1回ほどのペースで受験します。1,2年生の皆さんも、日々の学習が進路実現に対して十分であるか否かを確認する機会としてください。また、模試の出題者は「解答解説」の作成に3分の2以上の労力をかけているそうです。つまり、決して安くはない模試は“受けただけ”では価値が半減してしまうのです。受験後には復習にもしっかりと取り組んで、100%の活用を図りましょう。

### ◆午前授業・三者懇談会・終業式…7/18(火)～24(月)

生徒・保護者・学級担任との懇談会。お忙しい中を来校いただきご家族に感謝の気持ちを示しましょう。1学期の振り返りと夏休みの過ごし方、さらに2学期以降の文理選択や科目選択が話題となることと思います。懇談会を一つの機会として、自分の進路希望を明確にしましょう。

### ◆夏期休業【29日間】…7/26(水)～8/23(火)

いよいよ、夏期休業となります。教科学習はもちろんですが、班活動以外の取り組み、読書や進路研究、各種学校のオープンキャンパスへの参加など、有意義な夏休みにしましょう。

## 今月の3年生

### 「3年生の夏＝受験生の夏」

暁峰祭を終えた3年生は、いよいよ本格的に受験生へ。7/26～28は1日5時間特編授業の夏期講座。夏期休業期間は8/2～4に学習(菅平高原)。8/17～23には希望者補習(5教科)が組まれています。“人生で最も勉強した夏へ”向け、ガンバレ、3年生!



| 7月  |                    |
|-----|--------------------|
| 1土  | ●                  |
| 2日  | ● 第67回暁峰祭          |
| 3月  | ● ↓                |
| 4火  | ○ 振替休日(7/1)        |
| 5水  | P ◎                |
| 6木  |                    |
| 7金  |                    |
| 8土  | ○ サタセミ[1-2] ※      |
| 9日  | ○ ※                |
| 10月 |                    |
| 11火 | 修学旅行事前検診<br>学年成績会議 |
| 12水 | 成績会議<br>5分短縮 ◎     |
| 13木 | P 心と命の講演会          |
| 14金 |                    |
| 15土 | ○ 進研記述模試[1-2-3] ※  |
| 16日 | ○ ※                |
| 17月 | ○ 海の日              |
| 18火 | ④⑤⑥                |
| 19水 | ④⑤⑥                |
| 20木 | ④⑤⑥                |
| 21金 | ④⑤⑥                |
| 22土 | ○                  |
| 23日 | ○                  |
| 24月 | ④⑤⑥                |
| 25火 | ①②③<br>終業式 ☆       |
| 26水 | ○                  |
| 27木 | ○                  |
| 28金 | ○                  |
| 29土 | ○ ※                |
| 30日 | ○ ※                |
| 31月 | ○ 体験入学             |

# オープンキャンパスへ参加しよう！

オープンキャンパスは学校の実際の雰囲気やカリキュラムを体験するチャンスです。学校の教員や学生と直接話し、質問や疑問を解消できます。さらに学科やコースの紹介や模擬授業体験など、進路選択に役立つ情報を得られます。異なる学校を比較し、自分の興味や適性に合った学校を見つけましょう。質問を用意して積極的に参加し、将来の進路決定に向けた大切な一歩としましょう。自分の選択肢を広げ、夢や目標に向かって進んでいきましょう。

## ●長野県内国公立大学オープンキャンパス

### 長野県立大学

グローバルマネジメント学部・健康発達学部  
7/16、8/19、8/20

### 信州大学 長野キャンパス

工学部 7/22、10/14  
教育学部 8/7

### 信州大学 松本キャンパス

ミニオープンキャンパスin松本  
7/29、30、8/5、6  
医学部保健学科 7/22  
医学部医学科 7/23  
人文学部 7/29  
理学部 7/29  
経法学部 7/29

### 信州大学 上田キャンパス

繊維学部 8/5、10/14

### 公立諏訪東京理科大学

グローバルマネジメント学部・健康発達学部  
8/4、5

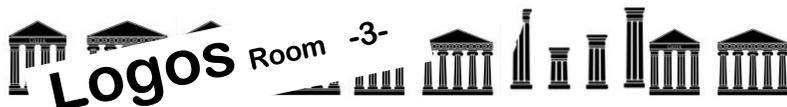
### 信州大学 伊那キャンパス

農学部 7/22

### 長野県看護大学

看護学部 8/10

※詳細は各大学のホームページを確認すること



## オープンキャンパスの思い出

大学は何を基準に選べばいいだろうか。もちろん「学びたいことに打ち込めるかどうか」が一番大切な基準なのだけれど、「学びたいこと」とは一体何なのだろうか。よくよく考えてみると、「興味あるような無いような、でも何となく経済学？」くらいで、「国際経済学を詳しくやりたい。とりわけ、変動相場制における金融政策の有効性について分析したい。」と踏み込んだことを言える人はほとんどいないのではないかな。

高い学費をかけるのなら少しでも意味ある学びをしてほしい。そのために、学びたいことはある程度具体化しておきたい。そこでオープンキャンパスだ。大学の雰囲気を直にみるというだけでなく、学びたいことをより具体化するきっかけづくりにもなりうる。

少し思い出話をしてみたい。高校生の夏である。もともと哲学をやりたいとは考えていたが、オープンキャンパス参加から、より学びたいことははっきりして、学ぶ意欲も高まったことを思い出す。当時好きだった科目が世界史と倫理で、それ以外はあんまりやる気も持っていなかったのだが、その時に聞いた哲学の先生の話から意識が変わった。

「大学で哲学を学びたいと思っている高校生にとって、高校での学びは進学したあとの準備とあってよい。高校で学習する知識を使うというだけではない。例えば高校の教科書に登場する内容にも疑いものや問い直すべき話題は多くある。大学での学びは、常識だと思われてきたことや定説とされるものであっても疑ってみたり、問い直したりしていくことに価値がある。そのとき、疑うべき対象を正確に知らずして、その真価を問い直すことが可能であろうか。また、こうした分析は日本語文献だけでなく、英語をはじめとした外国語文献にも依拠して行うが、言語を扱う力（国語や英語）が欠かせない。」

こんな趣旨の話聞いた。この程度でといえは変な話だが、目から鱗だった。当時の私にとって大学へ入るための手段でしかなかった高校の学習が、この言葉で、大学の学びへ直結するものへと転換された。学びたいことも少し踏み込んだことが言えるようになった。

具体的に言えば「ヘーゲルの歴史哲学的視点から世界史の意義を問い直してみたい」（世界史と倫理、好きな科目に関することを関連させて深めてみるのもありだ！）とか、「カントがいう宇宙は無限か有限かのアンチノミーをどう評価してやるか」（好きな倫理と地学、だけでなく、苦手な数学も好きな分野にひきよせて考えてみるか！）だとかいったものだ。今にして思えば壮大に過ぎるもので恥ずかしい限りだが、高尚でまだまだ遠いところと思えた学問を、身近な学習を題材に始めていいんだと思えた瞬間、とてもワクワクする気持ちになったことは確かだ。

【蛇足】このオープンキャンパスは結構鮮明な記憶として残っている。その理由は、上に書いたような経験をしただけではない。このとき私は同じクラスの「ちょっと気になる」女の子と二人でオープンキャンパスに参加した。たまたま、同じところに行くことを知って何となく二人で出かけることになったわけだが、私の心はドキドキ・少しウキウキ。その日もその後もとくに何があるわけではなかったけど、そんな淡い思い出もプラスされて印象に残っている。

## TanQ <sup>-4-</sup> Across the long and winding road

目の前にはひと抱えもある鍋が転がって、「盗ってくれ！」はげさにしても「だれか盗んでいってくれんもんかね」とは思っていたような気がする。東北のそう大きくもない駅での話で、ぼくはたしか、電車の乗り換えを待っていた。

北海道の美幌という所からひたすらに自転車をこいで宗谷岬を目指すという旅をした。詳細は全部省くが、その旅に東京から北海道まで、およそ一般家庭ではお目にかかることのないくらいのでっかい鍋を運んでいくことになった。肩には分解した自転車を提げて、背中には大量のキャンプ道具を背負い、そしてこの鍋だ。東京の人口過密電車ではあからさまに邪魔だという視線を向けられ、北上する電車では乗り換えのたびにこの大荷物をわっせわっせと担ぐことになる。季節は夏だったこともあり、乗り換えのたびに汗だくになった。北の大地を前に、ぼくはこの鍋との付き合いに早々に嫌気がさしていた訳である。犯罪を助長するつもりは一切無いので念を押すが、「今、地球の危機を救うのに巨大な鍋がどうしても必要な人がいて、落とし物と間違えてぼくの鍋を持って行ってしまおうのであればそれは不可効力」とは思っていた。鍋は当然誰にも盗られること無く、その後 10 日間、ぼくと運命をともにした。自転車のお尻に鍋をくくりつけたまま北の大地を疾走する旅人の姿をどうか想像してみしてほしい。

ネット回線ひとつで世界の絶景に出会うことが出来る世の中で、旅の価値があるとすればそれはたぶん記憶だと思う。北海道で、素敵な景色にもたくさん出会ったが、小さな駅で鍋を眺めていたその感情と記憶は世界のどこでも手に入らない、ぼくだけのものだ。

探究は「学習」と考えると急に難解なイメージになるけれど、難しく考える必要は無いから自分が「おもしろそう」と思ったことに対して行動を試してみればよいと思う。夏休み、皆さんが自分だけの「何か」を手に入れることに期待しています。